

情報系短大新入生に対する大学入試センター試作問題『旧情報(仮)』の

授業内での実施結果

石塚 文晴
大阪電気通信大学
ishizuka@osakac.ac.jp

弘中 大介・矢野 健太郎
福岡工業大学短期大学部
{hironaka, yano}@fit.ac.jp

渡邊 景子
東京女子体育大学
keiko@iisa.jp

2022年度に大学入試センターは2025年度大学入試における「情報」の試作問題を公表した。公開された試作問題の内、『旧情報(仮)』を情報系短大の2023年度の新入生に実施して、その結果について報告する。

1. はじめに

2022年度入学生から高等学校の新学習指導要領に沿った必修科目「情報I」が開始された⁽¹⁾。加えて、2025年度大学入学共通テストより情報(出題範囲は情報I)が出題教科の対象となることが決定している⁽²⁾。また、2022年には大学入試センターによって情報の試作問題が公開された⁽³⁾。この中には、2025年度入試で情報の旧課程科目である「社会と情報」と「情報の科学」を履修した受験生を対象とした試作問題『旧情報(仮)』も公開されている。

2. 実施の経緯

第一著者は2022年度まで情報系短大(以後、「本学」と表記する)に勤務しており、1年生の専門科目である「情報科学」の担当や、今後の短大入試への「情報」導入についての検討を行ってきた。本学はプログラミング教育を核とした情報系科目を設定しているが、入学者の高等学校での履修科目は「社会と情報」が多い。そこで、情報系短大への入学者の入学当初における「社会と情報」と「情報の科学」に関する理解度状況を把握するため、大学入試センターが公開した試作問題『旧情報(仮)』を利用して評価を行うことにした。

3. 実施の方法

試作問題を実施した授業科目は、本学の1年生前期の専門選択科目である「情報科学」である。本科目は選択科目であるが例年入学者の90%程度が履修し、3クラスで実施している。第1週の授業時間を利用し、80分で全ての問題に取り組みさせた。問題用紙は大学入試センターが公開しているPDFの4ページ目以降(表紙および注意点などを除いた部分)を印刷し、解答用紙は独自のマークシートを用いて解答させた。尚、学生には本テストの結果は「情報科学」の成績には一切影響しない旨を伝えている。

4. 結果

表1は試作問題『旧情報(仮)』を構成する大問と出題教科および今回の解答者の人数である。尚、解答を始めるにあたり、全ての問題を解くようにとの指示を行わなかったため、問題用紙の注意書きを読み第2問と第3問のどちらか、および第5問と第6問のどちらかを選択して解答した学生がいるため、第2, 3, 5, 6問の解答者は、全解答者数である161名よりも少なくなった。

表1 各大問の出題分野と解答者数

大問	出題分野	解答者数
1	「社会と情報」「情報の科学」	161人
2	「情報の科学」	135
3	「社会と情報」	143
4	「社会と情報」「情報の科学」	161
5	「情報の科学」	128
6	「社会と情報」	137

4.1 各大問の得点情報

表2は各大問の統計情報を示している。また、図1～4は大問2, 3, 5, 6の得点の分布を示している。

表2 各大問の統計情報

大問	配点	最低	最高	平均	標準偏差
1	35	4	33	16.4	5.8
2	15	0	12	3.0	3.1
3	15	0	15	5.1	3.6
4	25	2	25	15.3	5.3
5	25	0	23	6.5	4.5
6	25	0	23	13.1	5.4

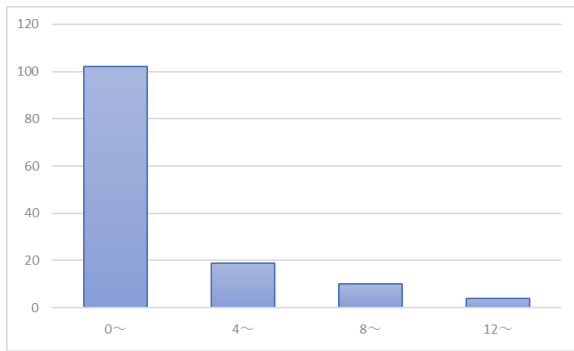


図1 大問2の得点分布

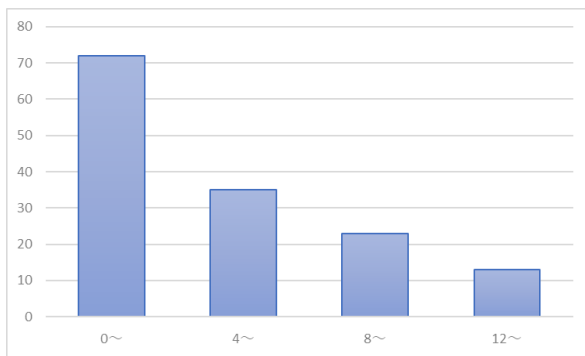


図2 大問3の得点分布

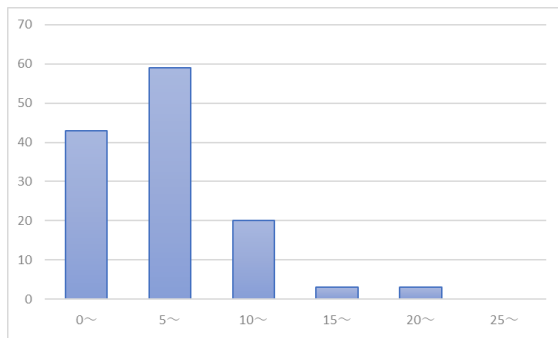


図3 大問5の得点分布

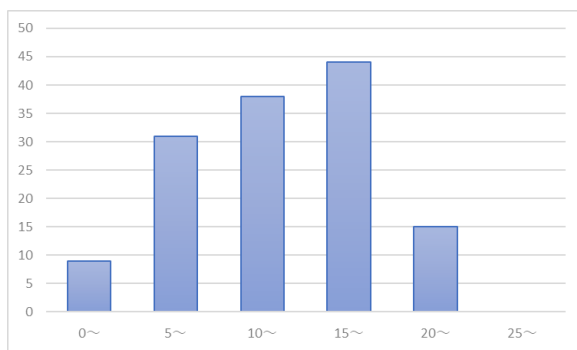


図4 大問6の得点分布

4.2 各問の正答率

表3は各大問での正解率毎の問題の割合を示している。

表3 各大問の正解率毎の割合

大問	正解率 20%未満	20-40	40-60	60-80	80-
1	23.1%	15.4	38.5	0	23.1
2	20.0	20.0	20.0	0	40.0
3	20.0	60.0	20.0	0	0
4	0	9.1	27.3	45.5	18.2
5	28.6	42.9	28.6	0	0
6	0	33.3	22.2	44.4	0

5. 考察

表2より大問2, 3, 5の平均点が配点の50%未満であることが分かる。大問2, 5は「情報の科学」からの出題であり、多くの学生が「情報の科学」を履修していない現状を反映していると考えられる。一方で大問3は「社会と情報」からの出題であるにも関わらず、図1, 図2から大問2と同じ得点分布の傾向がみられる。

また、表2より大問5と比べ大問6は平均点が高いが、表3より0点である学生が数名おり、調査を進めてく必要があると考えられる。

各問の正解率の最低は大問1の「ケ」で1.2%であった。大問1は「社会と情報」と「情報の科学」に共通する出題範囲であり、全ての高校生が学んでいる内容であると考えられる。この原因については詳しく検討する必要がある。一方、最高は大問1の「ウ」と大問2の「イ」で97.5%であった。

6. おわりに

今回は全体的な得点状況についての報告を行った。特に誤答分析を含めた詳細分析を今後行う予定である。また、今回は情報系短大の学生を対象として分析を行ったが、今後情報系短大以外の学生との比較などを行っていく予定である。

参考文献

- (1) 文部科学省：高等学校学習指導要領（平成30年告示），(2018).
- (2) 大学入試センター：平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した令和7年度大学入学共通テストからの出題教科・科目について，
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r7ikou.html(参照 2023-05-11) (2021)
- (3) 大学入試センター：令和7年度試験の問題作成の方向性，試作問題等，
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r7ikou/r7mondai.html(参照 2023-05-11) (2022)